

教育を科学する

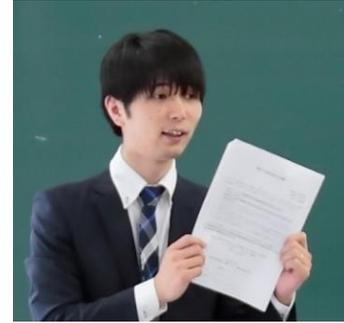
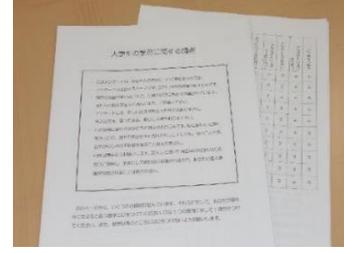
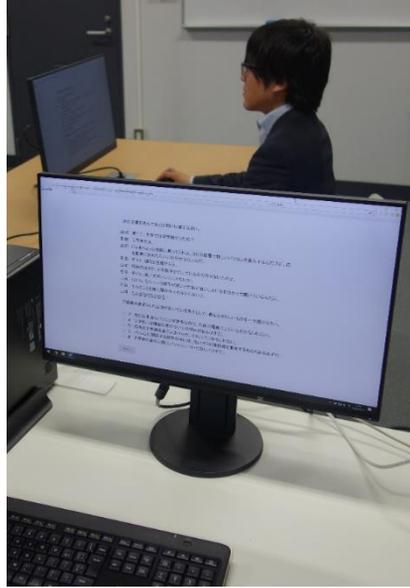
自己調整的な学習者の育成に向けて

横浜国立大学 教育学部 准教授
鈴木 雅之

教育心理学とは？

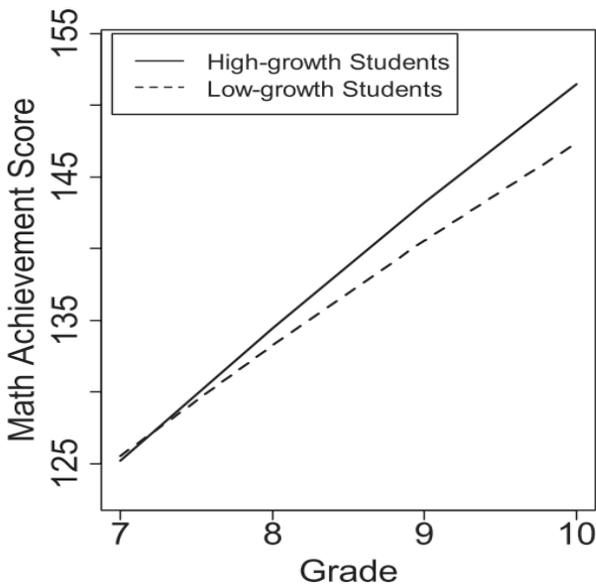
「心理学」や「教育心理学」と聞いて、みなさんは何を思い浮かべるでしょうか？

心理学の研究対象は非常に多様であり、一言では説明できませんが、科学的な方法を重視し、実験や調査などを通して、人の行動や心について探究するという点に、心理学の特徴があるといえます。私の専門である教育心理学（教授学習）は、「なぜそのような結果になるのか」について理解し、エビデンスに基づいた教育を創り出すことを役割の1つとしています。



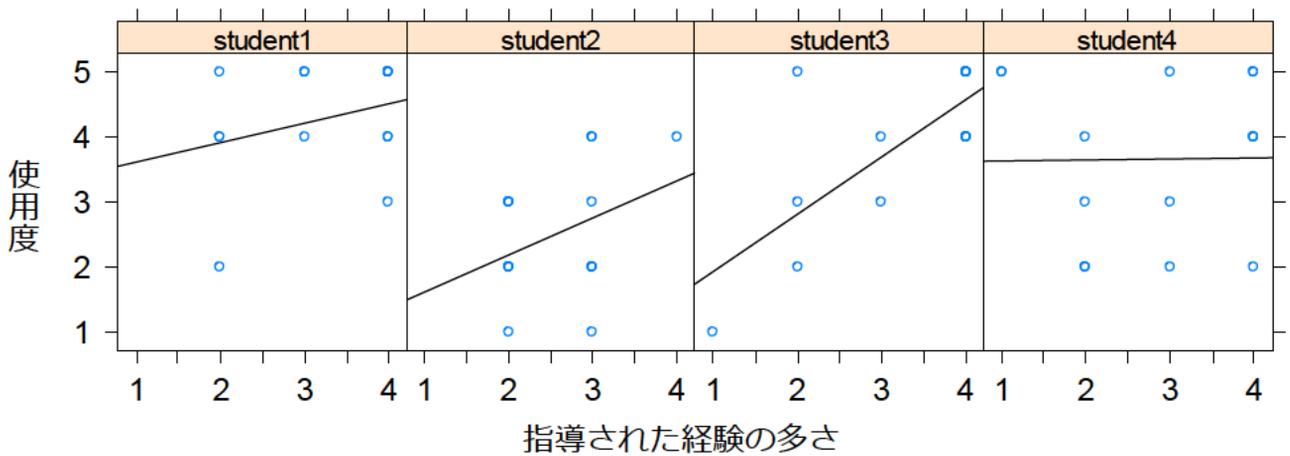
PCなどを利用した実験や質問紙調査、授業実践など、様々な方法で研究します

意味理解を重視した学習が学力の成長に影響



Murayama, K. et al. (2013).
Child Development, 84, 1475-1490.

左のグラフは学年（横軸）と数学のテスト得点（縦軸）の関係を表したものです。これを見ると、数学学力の成長の軌跡は人によって異なることがわかります。では、人によって成長の軌跡が異なるのはなぜでしょうか。この研究では、意味理解を重視した学習をしている学習者や、数学を面白いと思うなど内発的動機づけの高い学習者ほど、数学学力の成長が顕著であることが示されました。このように教育心理学研究では、「意味を理解すること」や「興味を持つこと」などにどのような効果があるのかについて、実証的に検討します。このことは教育実践上の指針を示す上でも有用といえます。



学習方略を指導された経験と学習方略使用の個人内相関の例

自己調整的な学習者の育成

学習者は、学習内容を習得するだけでなく、学習に対する動機づけを自分で高めたり、適切な学習方法（学習方略）を選択したりする力を身に着けることも重要になります。つまり、学習へのやる気を自ら引き出したり、適切な学習方略を自発的に利用したりする力も1つの学力といえます。こうした力のある学習者は、自己調整的な学習者と呼ばれます。自己調整的な学習者を育成するための方法を明らかにしていくことが、私の研究の目的です。

たとえば、適切な学習方略の使用を促すためには、方略そのものを教えることが考えられます。しかし、教わった方略を実際に使用するかどうかには個人差があり、教わった方略をよく使う学習者もいれば、あまり使わない学習者もいます。このような個人差がなぜ生まれるのかについて検討することで、どのような実践を行うべきか考えています。また、これらの研究を通して具体的な実践を提案し、その効果について検証することで、自己調整的な学習者を育成するための方策を明らかにしようとしています。

この研究に取り組んでいるのは

鈴木 雅之(すずき まさゆき)

横浜国立大学 教育学部/大学院 教育学研究科 准教授

東京大学 大学院教育学研究科 博士課程修了。博士（教育学）。
国立情報学研究所、昭和女子大学を経て現職。中学校教諭1種
免許（社会）と高等学校教諭1種免許（公民）も持つ。

小学生の頃は勉強が苦手だったからこそ、学習方法の重要性を
実感しています。研究室URL：<http://m-suzuki.com>



本棚 参考図書のご紹介

高校生向け書籍

- 「勉強法が変わる本—心理学からのアドバイス」
 (岩波ジュニア新書, 市川伸一)
 「間違いだらけの学習論—なぜ勉強が身につかないか」 (新曜社, 西林克彦)



より詳しく知りたい人は (専門向け)

- 「学習意欲の理論—動機づけの教育心理学」 (金子書房, 鹿毛雅治)
 「教育心理学の実践ベース・アプローチ—実践しつつ研究を創出する」
 (東京大学出版会, 市川伸一 [編])
 「自ら学び考える子どもを育てる教育の方法と技術」
 (北大路書房, 自己調整学習研究会 [監修])
 「Promoting spontaneous use of learning and reasoning strategies」
 (Routledge, Manalo, E., Uesaka, Y., and Chinn, C. [Eds.])



最近の論文

- Suzuki, M., & Akasaka, K. (2018). Do emotions after receiving test results predict review activities? An intra-individual analysis. *Japanese Psychological Research*, 60(1), 1-12.